

算数科1年 家庭学習について

- ※ 教科書を見て、お子様と一緒に活動してください。
- ※ 声掛けの例を載せましたので、お子様の様子に合わせてご活用ください。
- ※ 教科書に書き込んだり、「さんすうぼっくす」に入っているブロックを操作したりしながら、学習を進めていけばよいです。

どきどき がっこう（教科書P2～7を活用して学習しましょう。）

1 時間目（教科書P 2～3）

- ① 教科書の絵がどんな場面かを考えよう。

「この絵の中にはどんな動物がいますか。」

「誰がどこへ行こうとしているのかな。」 「学校までの道を指でなぞってみましょう。」

「どんなものがあるかな。」

- ② 同じものを仲間分けしよう。

「いろいろなものがあるね。同じものごとに分けてみましょう。」

「同じものにブロックを置いてみよう。」 「○○に青色のブロックを置けるかな。」

「同じものを○で囲んでみよう。」 「タンポポをまとめて○で囲んでみましょう。」

「魚をまとめて○で囲んでみましょう。」

「鳥をまとめて○で囲んでみましょう。」

...

「いくつあるか数えてみましょう。」 「亀は何匹いますか。」

「つくしはいくつありますか。」

「木はいくつありますか。」

「家はいくつありますか。」

...

2 時間目（教科書 P 4～5）

① 教科書の絵がどんな場面かを考えよう。

「この絵はどんな場面かな。」 「ぞうさんと犬さんはどこに来たのかな。」

「どんなものがあるかな。」

② 数を比べよう。

「鳥がおうちへ入ろうとしているね。」

「みんな入れるか、鳥と巣箱を線で結んでみましょう。」

「ちょうちんがチューリップにとまいたいたいのかな。」

「みんなとまれるか、線で結んでみましょう。」

「カエルが葉っぱに乗ろうとしているね。みんな乗れるかな。」

③ どちらが多いか考えよう。

「鳥と巣箱ではどちらが多いかな。」

「ちょうちんとチューリップでは、どちらが多いかな。」

「カエルと葉っぱでは、どちらが多いかな。」

3 時間目（教科書 P 6～7）

① 教科書の絵がどんな場面かを考えよう。

「これはどこにいる絵かな。」

「どんなものがあるかな。」

② バケツとじょうろの数を比べよう。

「じょうろにオレンジ色のブロックを置いてみましょう。」

「バケツに青色のブロックを置いてみましょう。」

「じょうろに置いたブロックを、1 ページのオレンジ色のマスの上に並べてみましょう。」

「バケツに置いたブロックを、1 ページの青色のマスの上に並べてみましょう。」

「じょうろとバケツでは、どちらが多いか、分かるかな。」

③ 桜と白い花の数を比べよう。

「1 ページの桜にオレンジ色のブロックを置いてみましょう。」

「白い花の上に青色のブロックを置いてみましょう。」

「ますの中にブロックを並べてみましょう。」（できる人は、マスの中に○でもよい。）

「桜と白い花では、どちらが多いかな。」